

問題一 次の文を読み、後の設問に答えなさい。

受験 番号	
氏名	

^A高校3年生が知っている単語の数が6万語というのは、「多い」のだろうか、それとも「少ない」のだろうか。このことを、18歳の誕生日までにこれだけの数の単語を身につけたと考えるなら、どうだろう。人間は生まれて最初の1年間はほとんど話せないで、この6万語は^カジッシツ17年間で^ホ獲得したということになる。^I、^Bこれは1日平均9.7語のペースで新しい単語を覚えていった計算になる。これがどれほどの^キ偉業であるかは、今まで知らなかった言語の単語を1日に9―10語覚えていくことの大変さを想像していただければ、おわかりいただけると思う。

ところで、^C外国語の単語を学習する場合と母語の単語を学習する場合とは、決定的に違うことがある。それは、外国語の学習の場合には、（少なくとも大人は）母語の単語を学習するなかで作り上げてきた概念を利用できるということである。つまり、英語のrabbitという語の意味を知るために、英和辞典を引けば、そこには、ウサギと出ている。我々はすでに、日本語のウサギが何を指すのかを知っているので、rabbitとは、^キテンケイテキには耳が長く目が赤く全身がふかふかした毛で覆われている四本足の小動物のことで、ネズミは含まれないこともすぐわかる。

これに対して、母語の単語を学習する場合には、その単語に対応づけるべき概念は、自分で作り上げなければならぬ。^{II}、^Dこの場合も、辞書は、大人にとつては大いに役立つ。たとえば手もとの広辞苑でヤクを引いてみると、「ウシ科の^ウ哺乳類、体長3メートル、^エ雌はそれより小形。毛色は灰色ないし^オ暗褐色で、頭は白っぽい。体側の毛は長くのびている。肩が盛り上がった体形。（以下省略）」とあり、それがウシに似ているがウシではない動物の名前であることがわかる。

しかし、^Eことは^Eを学び始めたばかりの子どもは自分で辞書を引くこともできないし、大人が単語の意味を説明してやろうとしても、うまくいかない。^{III}、ある2歳児は、花でも葉でも花と呼んでいたので、一緒にいた大人は葉を指さして^イツショウケンメイ説明した。「この緑色のところは葉っぱって言うのよ」。すると、^Fものわりのよいその2歳児はすぐに葉っぱばかりが、花までも、葉っぱと呼ぶようになってしまったのである。もちろん、この子どももさまざまな場面で花とか葉っぱが使われるのを見るうちに、やがてはその正しい使い分けを身につけることだろう。しかし、ことばを学び始めたばかりの子どもには、大人の説明を理解するのも難しいので、単語の意味は自分で推測するしかない。^{IV}、そのような^ケダンカイの子どもも多いときには1日に9―10語もの新しい語を身につけていくというのは驚異的なことである。

（今井むつみ・針生悦子『言葉をおぼえるしくみ』ちくま学芸文庫）

問一 傍線部あ―おの漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

あ 獲得 い 偉業 う 哺乳類 え 雌 お 暗褐色

問二 傍線部か―けのカタカナを適切な漢字に楷書で直しなさい。

か ジッシツ き テンケイテキ く イツショウケンメイ け ダンカイ

問三 本文中のⅠからⅣに入る適切な語句をそれぞれ次の中から選び、番号で答えなさい。

- ① すると
- ② および
- ③ もちろん
- ④ たとえば
- ⑤ それにもかかわらず

問四 波線部Aの文に「多い」「少ない」と括弧が付けられている箇所があるのはなぜか。その答えとして最も

適切なものを次の選択肢から一つ選び、数字で答えよ。

- ① 二つの語を対比させ、否定するため。
- ② 二つの語が引用であることを示すため。
- ③ 二つの語を厳密には定義せずひとまず使用しているため。
- ④ 二つの語を一般的な意味とは別の意味で使用しているため。

問五 波線部B「これ」とあるが、指す内容を簡潔に説明せよ。

問六 波線部C「外国語の単語をく違うことがある」とあるが、何が違うのか。その答えとして最も適切なものを次の選択肢から一つ選び、数字で答えよ。

- ① 単語が持つ概念を辞書で調べる必要があるかどうか。
- ② 単語について大人の説明を聞いて理解するしかないかどうか。
- ③ 単語が持つ概念を学習する際に既知の概念を利用できるかどうか。
- ④ すでに知っている単語を組み合わせて説明を受けることになるかどうか。

問七 波線部D「この場合も、辞書は、大人にとっては大いに役立つ」とあるが、なぜ大人にとってという限定的な表現になっているのか。その答えとして最も適切なものを次の選択肢から一つ選び、数字で答えよ。

- ① 大人は身近なところに辞書があり利用しやすいが、ことばを学びはじめの子どもはそういった環境にないことが多いから。
- ② 大人は辞書を引くことで単語の意味を理解するが、ことばを学びはじめの子どもは自由な発想で単語の意味を推測するから。
- ③ 大人は子どもの単語理解を促進するために先に辞書を見て学ぶが、ことばを学びはじめの子どもにはその知識が伝わりにくいから。
- ④ 大人は辞書の記述と既知の概念を組み合わせることで単語の意味を理解できるが、ことばを学びはじめの子どもはそれができないから。

問八 波線部E「ことばを学びはじめたうまうまいかない」とあるが、これはなぜか。辞書を自分で引けないこと以外の理由を簡潔に説明せよ。

問九 波線部F「ものわかりのよくなってしまったのである」とあるが、このように一部の事象を大部分に当てはめて考えることを何と言うか。次の選択肢から最も適切なものを一つ選び、番号で答えよ。

- ① 独善
- ② 予断
- ③ 類推
- ④ 察知
- ⑤ 策定

問十 二重傍線部の「驚異的」という語句を使って、十五文字以内で例文を作成せよ。

問題二 次の各文の二重傍線部の語句の品詞名を数字で答えよ。

イ 週明けに東京へ行く。
ロ 花が咲いた。しかし、翌日散った。
ハ 交通違反のため、罰金を科された。
ニ 元気の学生が走り回っている。
ホ この行列は出口まで続いているようだ。
ヘ 激しい雨で足止めされる。
ト いきなり知人宅を訪問する。
チ あらゆる本を読んで勉強する。
リ 荷物を顧客のところへ運ぶ。
ヌ ああ、もっと早く知っておけばよかった。

- ① 動詞
- ② 形容詞
- ③ 形容動詞
- ④ 名詞
- ⑤ 連体詞
- ⑥ 副詞
- ⑦ 接続詞
- ⑧ 感動詞
- ⑨ 助動詞
- ⑩ 助詞